

B 2 7 初級～ (TV 聴講あり)	<h1 style="margin: 0;">特 許 調 査 の 基 本</h1> <h2 style="margin: 0;">～検索式の立て方とその評価～</h2> <p style="margin: 0;">製品イメージを捉え、自社事業に即した特許調査とは？ 調査の着手段階、検索式作成から調査結果の自己チェック方法</p>
講 師	酒井 美里 (スマートワークス(株) 代表取締役、元セイコーエプソン(株) 知的財産本部)
日程・会場	東京本会場 → TV会場：JPDS 名古屋、大阪、九州各営業所セミナー室 8月27日(火)、11月20日(水)
時 間	1 日間 (10:00～16:00) // 昼休憩 11:45～12:45
アクセス	http://www.jpds.co.jp/company/access.html
定 員	東京会場 24 名 // TV会場：各会場共 10 名 (先着順申し込み)
受講料 (税別)	本会場：20,000 円 (TV会場：16,000 円)
対 象	特許調査担当の初級者
内 容	
<p>実際の特許調査の場面において、特許調査の依頼者から出された依頼内容(技術テーマ)を正確に把握した結果を導くことは易しくありません。依頼者とのコミュニケーション不足や思い込み、調査結果の検証不足によることもその一因です。「製品イメージを捉え、自社事業に即した特許調査とはどのようなものか?」「調査の着手段階における確認すべきポイント」、「製品イメージを捉えた先行技術調査」、そして「調査結果の自己チェック方法」を企業からの特許調査業務で日々活躍されているプロサーチャーがノウハウをお伝えします。</p>	
プログラム	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 特許調査の前にすべきこと ～事前ヒアリングのポイント～ <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションとヒアリングの類似点と違い ・ 技術者と知財担当者との技術認識レベルを一致させる ・ ミスなく・漏れなく・誤認なく ・ 調査ヒアリングの事前準備 ・ ヒアリング事例とチェックポイント 2. ヒアリングから検索式作成へ～ <ul style="list-style-type: none"> ・ 50字要約について ・ 「共起語」について ・ 仮説の設定/ヒアリング ・ 調査方針の設定/事例：健康食品 ・ 仮説と検索式の修正/ハズレ公報からの読みとり ・ 同義語・類義語追加と本検索式への展望 ・ 事例による試し検索からの調査展開予測紹介 3. 調査結果の自己チェック方法 ～妥当性を確認～ <ul style="list-style-type: none"> ・ 失敗事例の紹介 ～どんな状態がうまく行っていないのか ・ 検証方法 ～ヒアリング結果で得た「課題」、「発明の本質」、「用途・効果」との対比 ・ 検索方針の立て直し方 	

【申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <http://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。ただし、TV会場での聴講の場合には継続研修の認定対象外となります。